

保護者の皆様へ

平成 27 年 4 月 1 日
幼保連携型 認定こども園ひかり
園 長 天笠 昌明

お子様が明るく元気に育ちますように・・・

本日は、お子様の御入園・御進級おめでとうございます。

今日から皆様と一緒に通う お子様が明るく元気に育つよう、共に頑張っていきたいと思います。

平成 27 年度から「子ども子育て新制度」がスタートしました。(別紙参考)

当園は、今までの高田幼児保育園・ひかり幼稚園ではなく、

幼保連携型 認定こども園ひかり(学校および児童福祉施設)となりました。

真の一体化の中で、質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供していきたいと思っております、
よろしくご協力をお願いします。

当園では、幼児期に一番大事な教育は、「基本的な生活習慣の確立と情緒の安定」だと考えます。

その為が一番大事な事は「家庭の保育」(親子の愛着・しつけ)です。

それが上手くいかないと、園でいくら頑張っても成長しません。まず家庭が安定し、家庭と園とが
相互努力し、信頼関係を作る事で子どもたちは伸びて行く事を十分理解して頂きたいと思っております。

平成 27 年の重点目標を理解頂き、ご家庭と園のそれぞれの役割をしっかりと果たし、明るく元気なお子
様を育てる事に一緒に努力していきたいと思っております。

また、当園では、0 歳から 6 歳までの育ちの連続性、集団の中での関わりの中で「異年齢児保育」「コ
ーナー保育」「1 日 1 時間以上の外遊び」など「遊びの中の学び」を重視しております。子ども達が伸び
伸びと明るく過ごし、心身ともに成長出来る様、子ども達の持っている個性を引き出し良い方向へ成長
出来る様、見守り援助します。子どもは好きな事をしている時は、目が輝き伸び伸びし集中もしていま
す。好きな事を十分に出来る時間を確保してあげる様 配慮します。そこから好きな事が同じである子
ども達が自然と集まってきます。自分だけの満足だけでなく、友達と満足を共有するという社会性も
養われていきます。そこが集団生活をする大切な事だと思っております。集団が生まれれば、ルールを守らな
ければならない、我慢をしなくては行けない、譲り合う事も必要である事を学んでいくのだと思っております。
未満児においても同様で、食事・排泄も大切な教育の場と考えております。子どもを客観的によく観察
し、その子の欲している事が出来るように環境を整えたり、アドバイスをしたり、更に伸びていけるよ
うに援助してあげる事が幼児期の教育ではないかと考えます。現在コミュニケーションがうまく取れな
い、すぐ挫折する等という社会性が問われています。まず乳幼児期に社会性が培われることが大事では
ないのかと考えます。

子ども達が園に来るのが楽しいと思えるような教育(保育)を日々心掛けていきます。

〈教育理念〉 「共育と貢献」

地域に愛されて、地域と育つ学校施設、地域の心の砦を目指します。

1. 教育目標

家庭との連携の下に「子どもが生きるために必要な力を育てる」ことを目指し、次の様な3つの目標を掲げて日常の保育指導を行う。

丈夫で元気な子・・・身体的な「元気」だけでなく、心の安定も図る。健康で元気である事は、子供を取り巻く人々や自然環境も健康で元気である必要がある。

よく考え、自分で行動する子・・・遊びを通してルールを守る。我慢するなどの社会性・協調性を見につけ、豊かな感性、好奇心や探究心をもった子ども、つまり「自律」した子供の姿である。

温かく 思いやりの ある子・・・人との関わりを大切にしたいという思いから生まれた目標。友達を大切に出来るという事は、自分が大切にされているという自己肯定感が必要。

2. 平成27年度 重点目標

◎園庭遊びを十分に取り入れ、丈夫な身体作りを目指す。

◎年齢に応じた望ましい基本的生活習慣が見につくように努める。

- ・光・暗闇・外遊び(早寝早起きの習慣)(別紙参考)
- ・朝の挨拶「おはようございます」 帰りの挨拶「さようなら」
- ・名前を呼ばれたら「はい」の返事
- ・出した物は元の場所に片づけをする
- ・話す人の目を見て良く話を聞く
- ・はきもの揃え

(みさと運動の推進)(別紙参考)

◎自分の思いを言葉で表現できる子が育つように、保育者・親がこどもの言葉によく耳を傾ける。

- こども園で行った活動・様子について、本人の口から聞けるようにする。
 - ・「てつなぎこみち」で親子触れ合おう(別紙参考)

◎園と家庭とが連携して図書の貸し出し・絵本の読み聞かせを推進する。

3. 平成 27 年度の実践

① 1 日 1 時間の外遊び

天気のいい日には 1 日 1 時間の外遊びをし、ケガをしにくい丈夫な身体作り・体力、運動能力の向上を目指します。泥だらけになって遊んで、服が汚れる事もあるかと思いますが、いっぱい遊んで来たのだと理解して、大変ですが洗濯をお願い致します。

② 園庭改造

子ども達がもっと大胆に遊び込める様な「園庭改造」に取り組んでいます。今年度は 2 期工事、自然と触れ合うことのできるバタフライガーデン・煉瓦舗装工事を行います。

③ 複数担任・チーム保育

複数の担任で見る事で、子どもに対する視野を広げ、保育教諭同士も共通理解しながら幅広い教育を行います。コーナー保育の充実も図ります。

④ 職員の研修

質の高い教育・保育を実践するために、各種研修に積極的に参加します。園内研修は、年 3 回(6 月 11 月 2 月)、申し訳ないのですが、降園時間の退縮に協力をお願いします。

⑤ 行事について

子ども達は、いろいろな行事を経験して成長していきます。運動会・遠足・発表会等いろいろな経験をさせたいと思います。また、会津美里町の行事には積極的に協力していきたいと思います。(あやめ祭り・鼓笛パレード・文化祭等)行事は、皆さんが参加しやすい土曜日に設定しております。

⑥ 個別懇談・保育参観・保育参加

お子様の様子をお伝えする、皆様の御意見を取り入れるために、5 月(年長児全員・年長以外は希望者)1 月(年長以外全員)に個別懇談、6 月と 11 月に保育参観を行います。子ども達の園での様子や保育教諭の仕事を体験して頂くために 6 月(以上児新入園児保護者)10 月(未満児保護者)に保護者の保育体験を行います。また希望者には、給食の試食も行います。

⑦ 絵本の貸し出し

毎週、木・金曜日に絵本の貸し出しをしています。

⑧ 小学校との連携

就学に向けてスムーズに行くよう、小学校との連携も図ります。

⑨ 児童館との連携

当法人の職員を派遣している児童館・児童クラブ館との連携

⑩ 子育て支援

未就園児対象のつくしんぼクラブの充実。育児相談(水曜日)も行います。

⑪ ホームページ

ホームページで園の様子をお伝えしております。

(平成 26 年度「認定こども園ひかり」の実践と評価)

(1) 園庭遊びの充実

毎日 1 時間運動遊び(外遊び)の時間を設け、体力作りを実践しました。

また、子どもたちが夢中で遊べる園庭造りにも取り組みました。

○園庭改造の進捗

平成 26 年 3 月・6 月・7 月に設計士、業者と園長、保育者・保護者と意見交換や打ち合わせを行いました。

園庭改造に向けた研修 4 月埼玉県松伏 こどもの森(4 名)・「してみたくなる

保育」5 月 千葉県我孫子 めばえ幼稚園(4 名)「楽しくなけりゃ保育じゃない」

「自然の持つ教育力に委ねる保育」6 月 めばえ幼稚園・茨城県美浦幼稚園(4 名)~

「子どもの脳みそを刺激する園庭を作ろう」

10 月 8 日から 16 日まで 1 期工事(どろんこ砂場、ガチャポンプ、雨集め小屋、植栽)

17 日(金)植樹祭を行う。



次の週から、どろんこ砂場・ガチャポンプで夢中に遊ぶ姿が見られました。

来年度も随時工事を行う予定です。

○肥満児の数を減らす

平成 25 年度は肥満児(太り過ぎ)が 6 名だったが、今年度は 3 名と減少。太り気味の割合も減っている。園庭遊びの充実や昼食のおかわり時間の見直し(早食いの防止)、食育活動の保護者アンケートによる食に関する意識の向上などの効果も考えられます。

○大きな怪我・事故・感染症を減らす

平成 25 年度は通院が必要な怪我、事故は 15 件。骨折などの大きな怪我もあったが、今年度は 6 件。打撲などの比較的軽度の怪我、事故であった。擦り傷などの怪我は園庭遊びが増えたことで増加したが、消毒程度の傷で済み、子ども達の危険回避能力が向上したと思われます。また、感染症の予防の仕方を知らせたり、感染症情報を 3 歳未満児と以上児に分けて保護者に早めに報告。感染症の罹患者数が激減しました。

(2) 絵本の貸し出しを増やす

バーコードシステムの導入により、貸し出しが簡素化し昨年は 1 度も貸し出しのなかった家庭も借りるようになった。貸し出し日も定着し、楽しみにしている子が増えています。毎週借りる子も増えています。

絵本作家を招いての講演会の実施

◎親育て・親教育

○おとうちゃんの会(15名) おかあちゃんの会(数名が中心) の活動
~園活動の理解や親同士の交流を図る。

○新入園児及び未満児の保護者の保育参加(新入園6名・未満児57名)
~実際に保育の仕事を体験し、給食も一緒に食べて頂きました。

○個別懇談の実施(5月・1月)

◎職員の資質向上

○園内研修~6月 大豆生田啓友氏 (玉川大学教授)

「魅力的な保育者であるために」

11月 サトシン氏 (絵本作家) 「お話から心と心を学ぶ」

○園外研修~10月 上越教育大学附属幼稚園公開保育(4名)
各種研修に、契約職員も参加。



園の自慢

- ◎広大な園庭・園舎 (保育環境)
- ◎親子ふれあいの場「てつなぎこみち」
- ◎多くのお友達との関わり (社会性の育成)
- ◎異年齢での関わり (コーナー保育・食事)
- ◎0歳から6歳までの育ちの連続性
- ◎トイレが保育室と一体、温かく入りやすい。
- ◎作り手の見えるランチルーム (手作りおやつ)
- ◎熱意のある職員
- ◎保護者組織の充実(保護者会・お父ちゃんの会・お母ちゃん)

職員一同、さらに研鑽を積みながら教育・保育にあたってまいりますので、よろしくお願ひ致します。

◎園長・副園長・主幹保育教諭、ベテランから若手の保育教諭、看護師、栄養士、事務員、用務員、熱意あるスタッフが揃っております。子育てや園の教育について分からない事、疑問な事等ございましたら遠慮なく申し出て下さい。また不満な点などあれば、直接園長・副園長・主幹保育教諭までお聞かせください。